

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 6月号

2023年6月1日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

#### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

令和5 (2023) 年3月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年5月26日発表) より

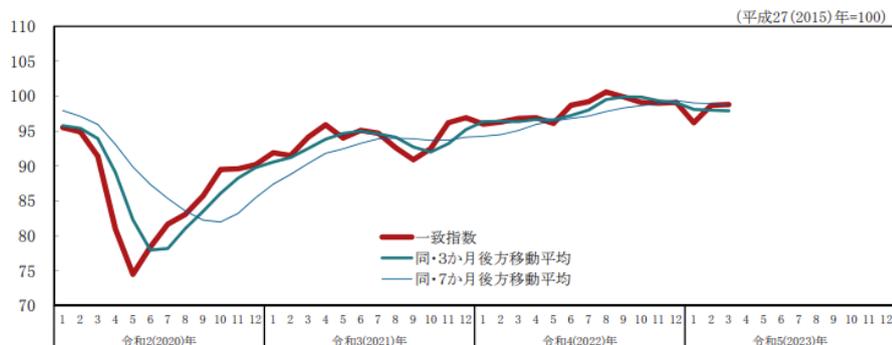
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202303rsummary.pdf>

- ① 2月分 CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、  
先行指数：97.7、一致指数：98.8、遅行指数：99.8

	3月分C I (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	97.5	97.7
一致指数	98.7	98.8
遅行指数	99.4	99.8

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (C I 一致指数) は、足踏みを示している。

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ :

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和5 (2023) 年3月分 (速報) (令和5年5月10日公表)」 pdf :

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202303psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202303report.pdf>

## 2. 各経済指標

- 月例経済報告（5月）（内閣府、令和5年5月25日 公表）  
（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）  
▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/05kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【上方修正】

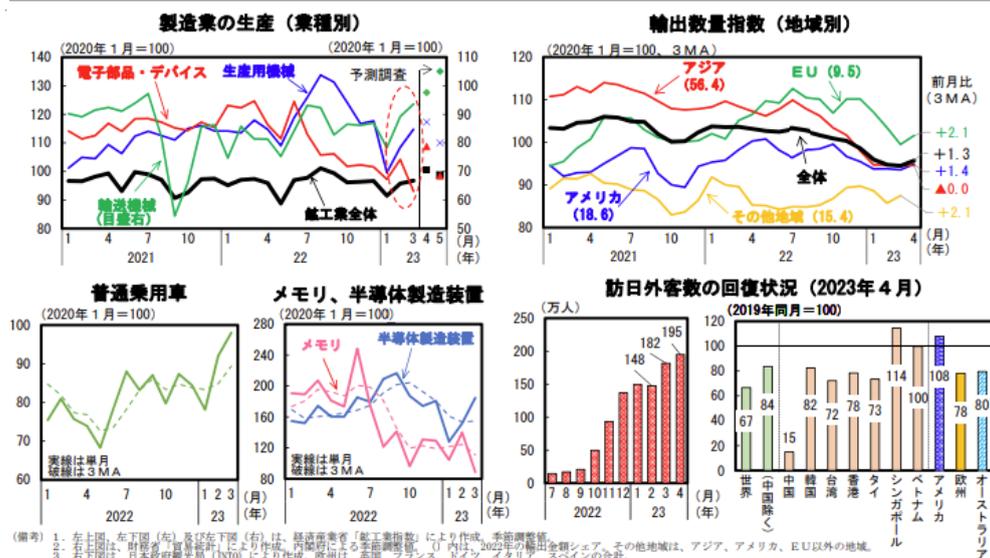
- ・ 景気は、緩やかに回復している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

### 今月のポイント(3) 生産と輸出の動向

- ▶ 製造業の生産は、持ち直しの兆し。世界的な半導体需要の軟化の下、メモリ等の電子部品・デバイスは在庫調整により減少傾向。一方、乗用車等の輸送機械は、供給制約が緩和する中で増加傾向が強まっている。
- ▶ 財輸出は、昨年秋以降、半導体需要の軟化や中国の感染拡大等を背景に弱含みが続いてきたが、このところは生産の増加を受けた自動車輸出の増加等によって底堅い動き。
- ▶ 訪日外客数は、4月に195万人と着実に増加。引き続き、インバウンド需要の拡大に期待。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和5年5月）」(pdf) :  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/0525getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ :  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ :  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

## ■ 設備投資 令和5年3月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年5月22日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

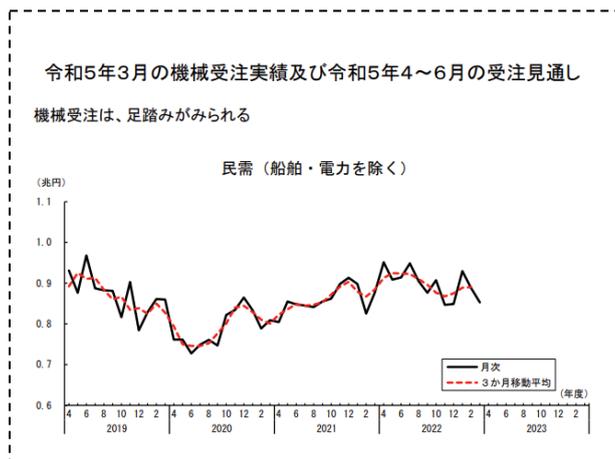
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2303juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2023（令和5）年2月前月比0.8%減の後、3月は同2.8%減の2兆4,375億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比12.3%減の9,525億円、官公需は同15.5%減の3,014億円、  
外需は同10.5%減の1兆48億円、代理店は同5.4%増の1,209億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2023（令和5）年2月前月比4.5%減の後、3月は同3.9%減の8,529億円となった。  
このうち、製造業は同2.4%減の4,229億円、非製造業（除く船舶・電力）は同4.5%減の4,397億円となった。

(以下図表は「令和5年3月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2303gaiyou.pdf>



期・月	対前月(期)比						(単位:%)			
	2022年 (令和4年) 4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	2023年 (令和5年) 1-3月 実績	4-6月 見通し	2022年 (令和4年) 12月 実績	2023年 (令和5年) 1月 実績	2月 実績	3月 実績	
受注総額	16.6	△9.3	△1.0	△8.7	6.3	4.7	△10.2	△0.8	△2.8	
民需	9.5	△1.9	△8.3	7.1	2.8	△2.8	12.0	3.1	△12.3	
〃(船舶・電力を除く)	6.7	△1.6	△4.7	2.6	4.6	0.3	9.5	△4.5	△3.9	
製造業	5.7	△2.8	△10.6	1.9	△0.6	2.5	△2.6	10.2	△2.4	
非製造業(除く船舶・電)	6.9	△0.4	2.1	3.2	9.2	△3.2	19.5	△14.7	△4.5	
官公需	4.0	△8.4	△3.6	19.9	9.3	△8.5	5.4	45.8	△15.5	
外需	22.6	△12.8	2.4	△21.4	8.7	10.5	△25.2	2.3	△10.5	
代理店	10.4	△3.7	1.4	0.1	△5.0	0.1	2.8	△6.8	5.4	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	0.9	1.6	0.2	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
2. △印は減少を示す。  
3. 見通しは2023年3月末時点の調査。

- ▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年3月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2303juchu-1.pdf>

- ▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年5月31日発表)

【2023年5月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202304sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202304sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202304sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202304sj.html)

### ー 生産は緩やかな持ち直しの動き ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫率は低下、在庫は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、5月、6月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は緩やかな持ち直しの動きで推移している。

#### ・生産は、前月比-0.4%の低下。

低下業種：生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、  
輸送機械工業(除、自動車工業)等

上昇業種：汎用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、  
電気・情報通信機械工業等

#### ・出荷は、前月比-0.4%の低下。

低下業種：生産用機械工業、石油・石炭製品工業、その他工業等

上昇業種：汎用・業務用機械工業、自動車工業、電子部品・デバイス工業等

#### ・在庫は、前月比0.3%の上昇。

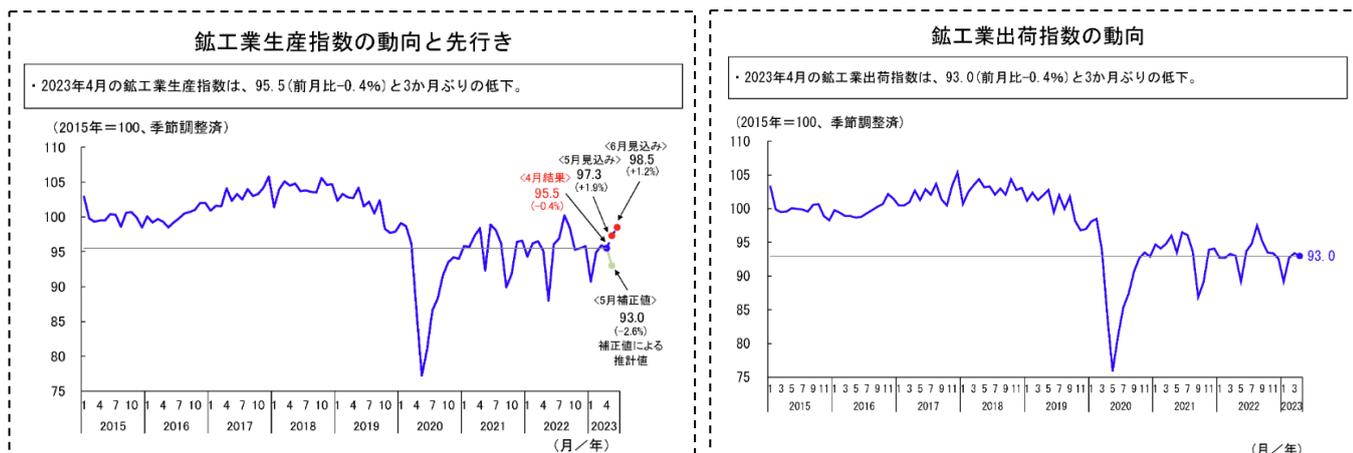
上昇業種：自動車工業、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業等

低下業種：鉄鋼・非鉄金属工業、電子部品・デバイス工業、  
化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)等

### 4月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230531\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230531_1.html)

(解説) 4月の鉱工業生産は、国内・海外からの受注減少などを受けて、生産用機械工業等が低下したことなどから、全体として前月比マイナス0.4%と、3か月ぶりの低下。基調判断は、「生産は緩やかな持ち直しの動き」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年5月31日発表より抜粋)

#### 【2023年3月動向概況】

- ・ **2023年3月のグローバル出荷額は**  
3,583億円、前年比94.8%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**  
受動部品 (前年比89.6% 1,623億円)、接続部品 (同97.4% 918億円)、変換部品 (同107.2% 575億円)、その他の電子部品 (同96.0% 465億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**  
日本 (前年比104.6% 842億円)、米州 (同107.0% 432億円)、欧州 (同122.5% 447億円)、中国 (同78.0% 1,046億円)、アジア・その他 (同94.1% 807億円) となった。

#### 1. 月別出荷金額 (2023.05.31発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	1月		2月		3月		4月-3月		
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	
世界計	3,232	90	3,202	99	3,583	94	43,693	102	
(日本)	679	93	718	105	842	104	9,059	99	
品目別	受動部品	1,524	87	1,495	95	1,623	89	20,721	100
	コンデンサ	1,088	85	1,070	94	1,155	88	14,656	99
	抵抗器	146	96	156	107	166	96	2,016	109
	トランス	43	106	45	136	47	113	555	126
	インダクタ	217	91	194	90	227	89	3,052	98
	その他	26	58	29	69	27	60	440	87
	接続部品	765	90	801	101	918	97	10,778	106
	スイッチ	316	95	340	109	386	103	4,181	107
	コネクタ	445	87	456	96	526	93	6,552	106
	その他	3	127	4	152	5	121	44	120
	変換部品	544	102	524	113	575	107	6,951	109
	音響部品	24	86	22	107	24	86	280	86
	センサ	178	82	182	90	204	93	2,421	92
	アクチュエータ	341	120	319	133	347	119	4,249	125
	その他の電子部品	398	85	381	98	465	96	5,241	94
	電源部品	218	121	221	127	278	130	2,738	124
	高周波部品	180	63	160	75	187	68	2,502	74

#### 2. 地域別出荷金額 (2022年度)

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,232	90	3,202	99	3,583	94	43,693	102
日本	679	93	718	105	842	104	9,059	99
米州	391	106	378	102	432	107	5,103	121
欧州	417	117	389	113	447	122	4,595	115
中国	935	71	942	89	1,046	78	14,919	93
アジア他	806	97	770	101	807	94	9,962	106

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上